

横須賀至二見港 (予定及實施)

日時分	要針諸元		真針路	航程 哩	累計航程	記 事	
	目 標	真方位					距離 哩
28th July 11-30 a.m.			適宜	1.8		実速 11.7 K.T 横須賀 LW 11-15 ^m a.m. HW 6 ^h -25 ^m p.m. 月齡 28 ^d .9 日没 6-48 p.m.	
	勝力埼	207°	1.1	111°	3.4		5.2
	第三海堡 灯台	237°	0.8	157°	2.4		7.6
	観音埼 灯台	263°	1.2	178°	2.9		10.5
	海瀨島 灯台	275°	1.8	190°	5.9		16.4
	剣埼灯台	295°	4.0	216°	10.4		26.8
	洲崎灯台	90°	6.5	167°	54.5		81.3
	三宅島頂 (267°)	270°	17.5	170°	220.0		301.3
	鳥島頂	270°	15.0	159°	217.0		518.3
	西島頂	90°	4.0	127°	4.0		522.3
	高山(226)	127°	2.6	適宜	2.3		524.8
	30th 8-30 a.m.	枚 錯					

0670

二見港至沖村港 (予定及実施)

31st 8-0 a.m.				適宜	4.2		實速 15 K.T. 31st H.W. 7-5 a.m. 二見 L.W. 1-5 P.M. 沖村 H.W. 7-20 a.m. L.W. 2-5 P.M. 日没 6-21 P.M.
	高島(225)	110°	4.2	188°	22.0	26.2	
	乾崎(620)	90°	3.0	146°	6.0	32.2	
	眼鏡岩	22°	0.95	適宜	1.5	33.7	
31st. 10-30 a.m.	投 錨						

沖村港至佐伯湾 (予定及実施)

1st 8-0 a.m.				適宜	2.0		實速 13.6 1st 日没 6-32 P.M. 2nd 日出 5-10 a.m. 日没 6-58 P.M. 3rd 日出 5-25 a.m. 3rd 佐伯湾 L.W. 4-20 a.m. H.W. 10-20 a.m.
	眼鏡岩	22°	0.95	303°	389.0	391.0	
	30°-10' N 136°-0' E			308°	243.0	634.0	
	沖島頂	74°	15.5	350°	17.0	651.0	
	鶴見崎	270°	6.0	317°	5.0	656.0	
	水子島灯臺	37°	3.6	270°	8.3	664.3	
3rd. 9-0 a.m.	投 錨						

0671

佐伯湾至名瀬港 (予定及実施)

日時分	要針		真針路	航程	累計航程	記事
	目標	真方位				
5th 6th 0-3 P.M.			適宜	8.5		5th 日没 7-6 P.M. 6th 日出 5-36 a.m. 6th L.W 7-25 a.m. H.W 1-09 P.M.
	水子島灯台	37°	161°	10.5	19.0	
	芥崎(1359)	270°	198°	156.0	175.0	
	種子ヶ島 竹倉崎△	270°	222°	123.0	298.0	
	サンドン岩	129°	206°	23.5	321.5	
	摺子崎△	206°	適宜	3.8	325.3	
	投錨					

名瀬港至古仁屋(予定及実施)

6th 11-0 P.M.			適宜	1.0		実速 15 Kt.
	摺子崎△	250°	294°	3.5	4.5	笠利湾 { L.W 7-25 a.m. H.W 1-0 P.M.
	全上	157°	246°	17.3	21.8	
	板手久島 1058	128°	204°	5.0	26.8	大島海峡潮流 西流(漲潮) 8-50 a.m. 2-25 P.M. 近 東流(落潮) 2-25 P.M. 2-50 P.M. 近
	曾津高灯台	90°	161°	2.2	29.0	
	全上	19°	96°	5.6	34.6	
		高辻山	9°	125.5°	1.6	36.2

0672

7-0 p.m.	蛤崎	19°	0.75	166°	0.8	37.0	古仁屋 六日 七日 日出 5-475 a.m 5-480 a.m 日没 7-12 P.M 7-11 P.M
	小場尻	166°	0.44	122°	0.9	37.9	
	長崎(善衛)	122°	0.9	141°	0.7	38.6	
	全上	71°	0.3	152°	1.3	39.9	
	瀬戸崎	43°	0.4	適宜	0.9	40.8	
	投錨						

古仁屋至横須賀 (豫定)

8th 4-0 p.m.				適宜	1.0		実速 15.7 kt. 八日大島海峡潮流 西流 11-25 a.m 到 6-5 p.m 迄 東流 6-5 p.m 到 11-25 p.m 迄 八日日出 3-45 P.M 日没 1-30 a.m 11.4
	赤崎(74)	29°	0.62	89°	1.5	2.5	
	ヤリキ島	89°	0.70	140°	1.1	3.6	
	皆通崎FS	86°	0.94	161°	0.4	4.0	
	全上	61°	0.92	136°	1.2	5.2	
	全上	0°	1.3	60°	9.1	14.3	
	市崎(570)	316°	3.9	46°	24.5	38.8	
	笠利崎	298°	10.0	33°	135.0	173.8	
種子島 門倉崎	270°	19.5	15°	47.5	221.3		

0673

	喜志鹿崎	235°	27.5	52°	174.0	395.3	月齡 12.0 九日 日出 5-36 a.m. " 日没 6-52 p.m.
	室戸崎灯台	0°	20.0	75°	82.5	477.8	
	潮岬灯台	0°	10.0	65.5°	185.0	657.8	十日 日出 5-47 a.m. 十日 横須賀 HW 935 a.m. 横須賀 HW 5-10 p.m.
	神子島船	310°	5.0	39°	38.2	696.0	
	洲崎灯台	12.1°	12.7	65°	13.5	709.5	
	剣崎灯台	295°	4.0	10°	5.9	715.4	
	海嶽高灯台	275°	1.8	358°	2.9	718.3	
	観音崎灯台	263°	1.2	337°	2.4	720.7	
	第三海堡灯台	237°	0.8	291°	3.4	724.1	
	月券力崎	207°	1.1	適宜	1.9	726.0	
10 th 2-0 p.m.	繫留						

古仁屋至横須賀(實施)

日時分	要針諸元			真針路	航程	累計航程	記事
	目標	方位	距離				
8 th 3-30 p.m.				適宜	12.8		大島海峡内
	曾津高崎LT	37°	2.6	0°	9.5	22.3	
	全上	468°	7.5	290	130.0	152.3	

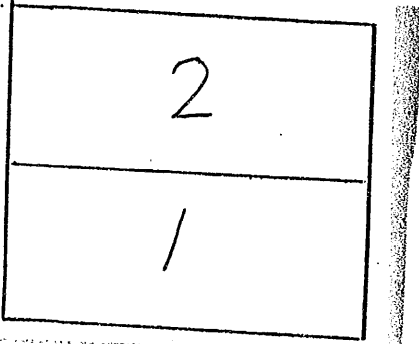

0674

沖	0107/1000	888	11011	11-11	21
0215	0215/1000	7111	1111	11-11	21

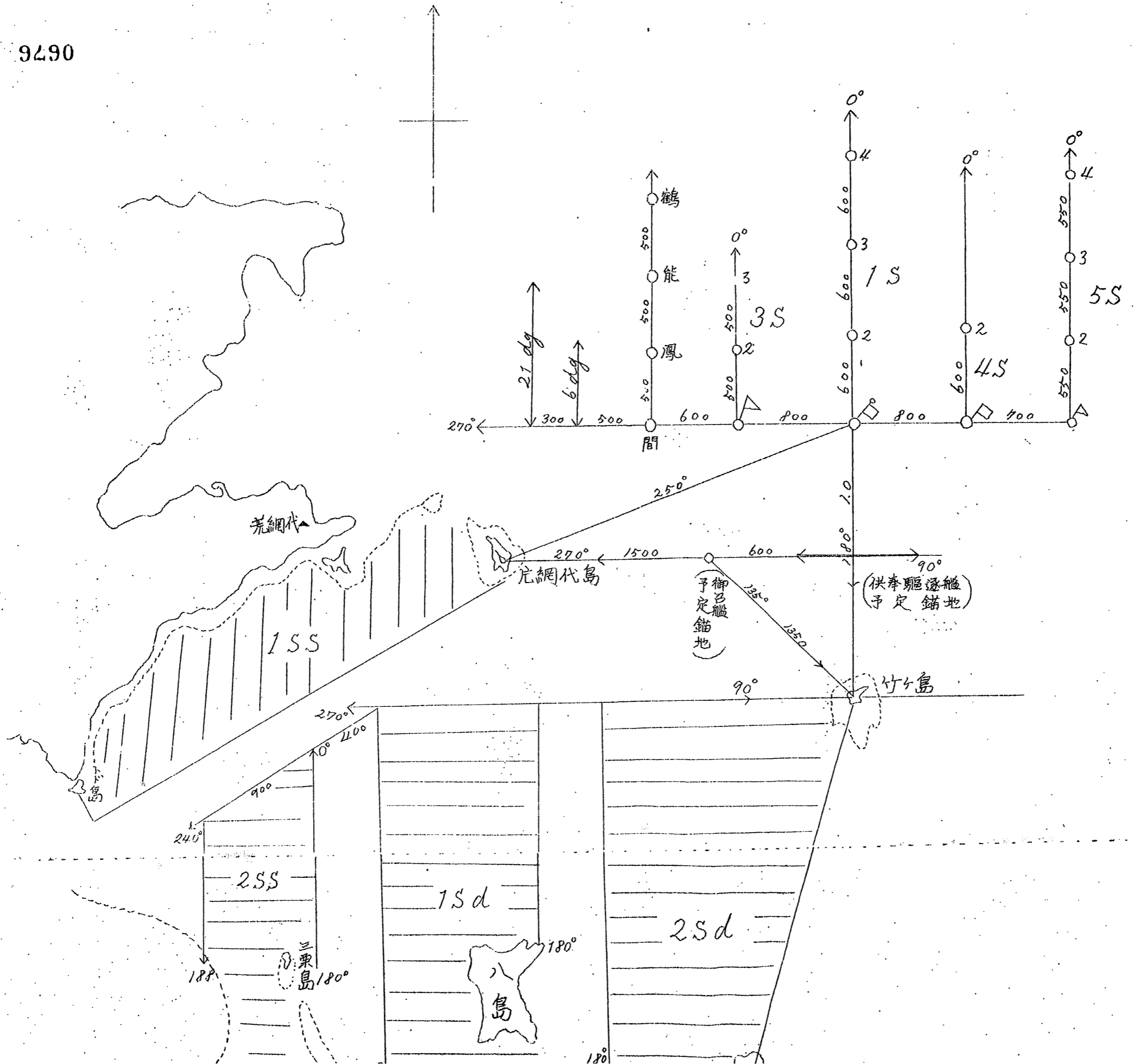
10th 2-1	屋久島LT	29°	10.5	12°	23°	175.3
	合土	180°	13.0	54°	76.5	251.8
	都井崎	270°	12.0	62°	242.0	493.8
	潮岬LT	0°	10.0	65.5	180.0	673.8
	種子元島LT	310°	5.0	39°	38.2	712.0
	洲崎LT	101°	12.7	65°	13.5	725.5
	劍崎LT	295°	4.0	10°	5.9	731.4
	海嶺LT	275°	1.8	35.8°	2.9	734.3
	観音崎LT	263°	1.2	33.7	2.4	736.7
	入港			通宜	5.5	742.2

0675

分割撮影ターゲット

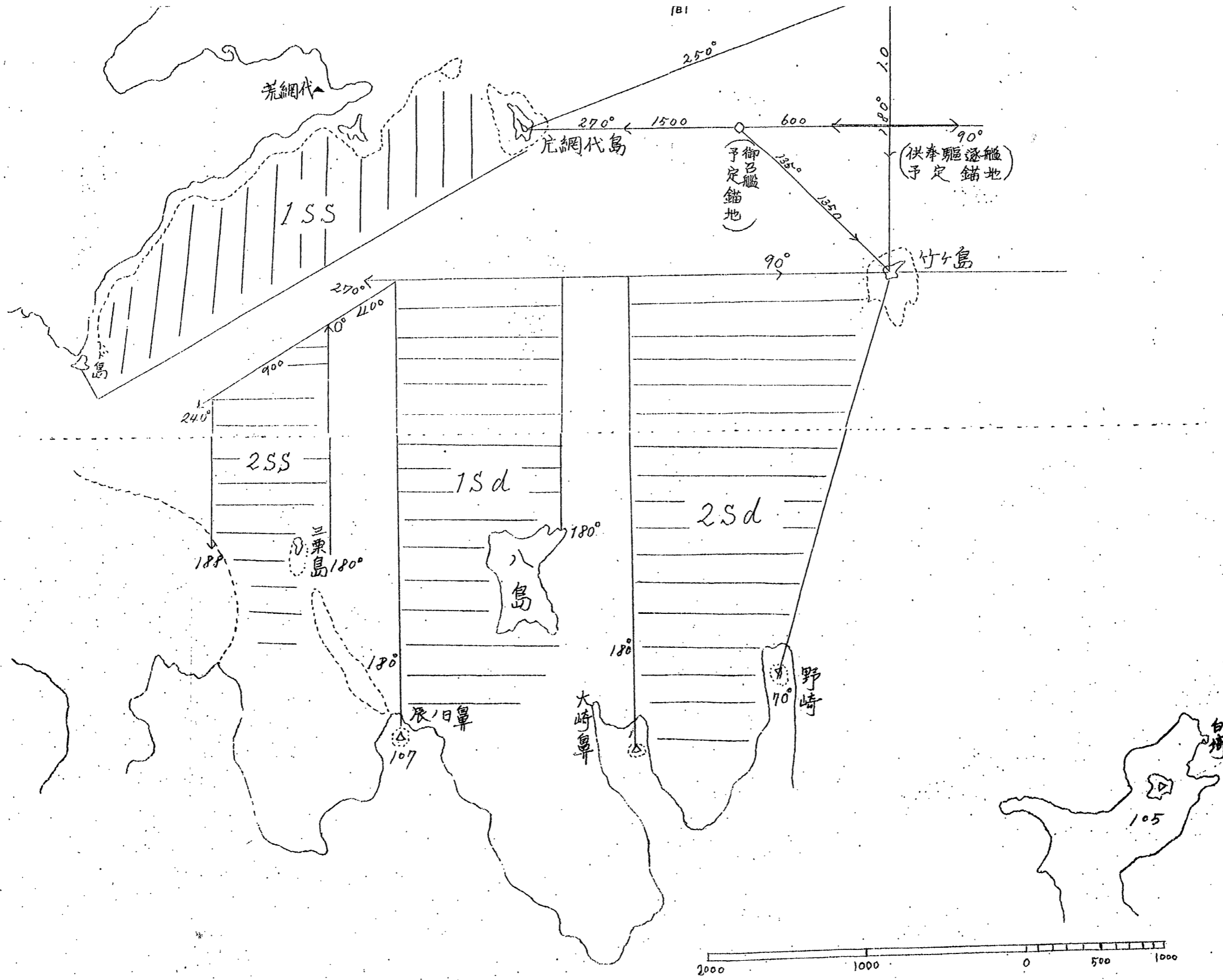
分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3 判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>12 年 5 月 26 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 三 浦 悟 </p>	

9290



佐伯湾 錨地
 (海軍海圖第一〇二號 卜同尺度)

二十七頁ノ次ニ挿入



二十七頁ノ次ニ挿入

2290

砲術科

昭和十一年六月一日

特別任務ニ関スル準備事項

場	所	品名	数量	記	事
一	砲塔	砲塔外口蓋ノ補填	一	工	廠
二	砲塔	彈火藥庫漲水傘覆	二	工	廠
三	砲塔	測距塔	二	本	廠
四	砲塔	彈火藥庫漲水傘覆	二	工	廠
五	砲塔	砲眼	二	本	廠
六	砲塔	測距塔	二	本	廠
		彈火藥庫漲水傘覆	二	工	廠
		砲眼	二	工	廠

二八

六砲塔	砲塔	口	覆	ニ	工	廠	テ	作製
六八番高角砲側	塔外	セメント	補填	一	工	廠	テ	作製
通	報	器	覆	二	本	艦	テ	作製
前艦橋附近	方	向	指	二	工	廠	テ	作製
測距儀格納筐	測	距	儀	三	工	廠	テ	作製
探照燈台	探	照	燈	一	工	廠	テ	作製
測距所	測	距	所	一	工	廠	テ	作製
測距所	測	距	所	一	工	廠	テ	作製
百十種探照燈	百	十	種	一	軍需部	テ	テ	作製
四十種探照燈	四	十	種	二	工	廠	テ	作製
管制器	管	制	器	四	工	廠	テ	作製
後部探照燈臺	後	部	探	一	工	廠	テ	作製

品名
十二種高角双眼望遠鏡
銃劍術要具

數量
一組
一組
一組

記
訓令依り特別任務期間中御召用トシテ受入
軍需部より發英費入(新品)

重油

三三三、三三三、三三三

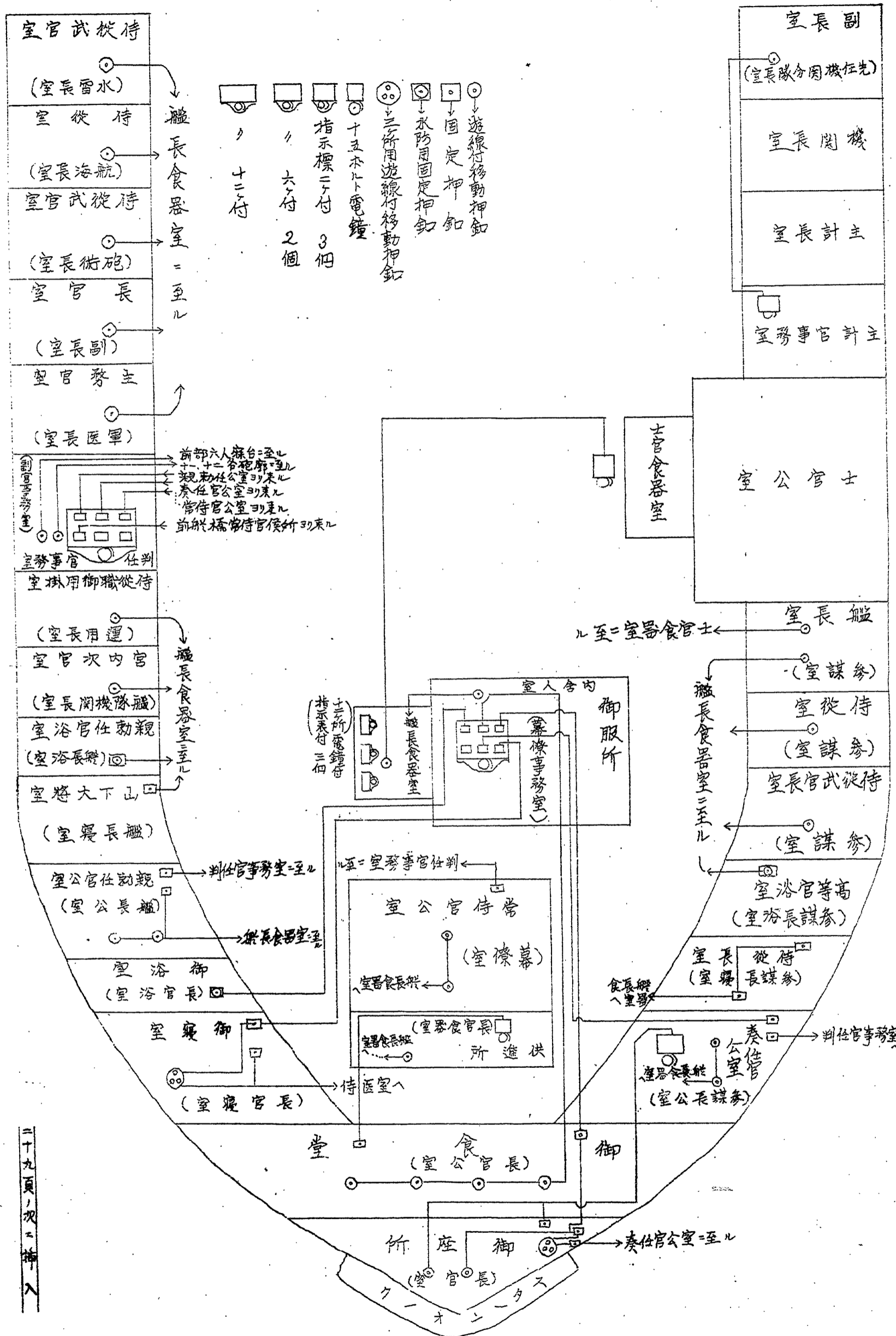
公八七、八五、八五

銃劍術要具	一〇組	本艦在庫品中ヨリ撰ビ修理ノ上準備
甲午至三年式八種高角砲		
減裝時限演習彈藥包	二〇個	
減裝目標彈藥包		
莢砲用二號擊發火管(Ⅲ型)	二五個	特別任務中於テ天覽ニ供スル爲
複動信管	二五個	
四〇至三年式八種高角砲		
二號空放裝藥包	四〇〇	禮砲用
莢砲用二號擊發火管(Ⅲ型)	四四〇	
劍道要具	一〇組	軍需部ヨリ貸與品貸與受入(新品)
柔道着	一〇組	本艦在庫品中ヨリ撰ビ修理ノ上準備
角力蓆	一〇組	本艦在庫品中ヨリ撰ビ修理ノ上準備
庭球用木ツト	九枚	軍需部ヨリ借用(新品)
竹(小)	二〇個	受入或ハ借用(新品)
		魚網ノ柄トシテ使用スルモノ

(終)

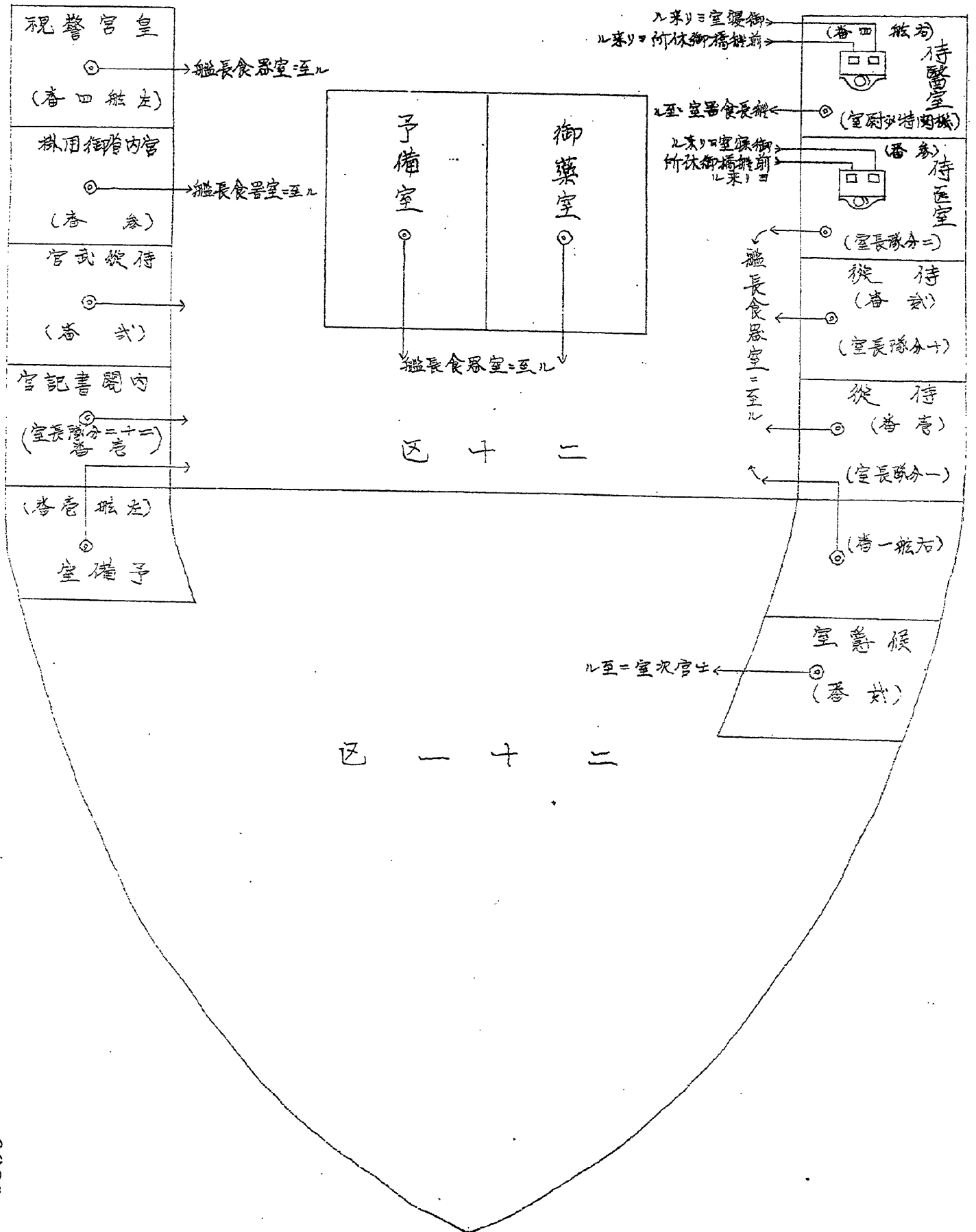
呼別
 鐘圖
 ヲノ
 備通
 ヘリ
 任工
 務廠
 終於
 了テ
 後呼
 徹鐘
 去電
 ス路
 ヲ
 臨
 時
 增
 設
 也

ニ
力

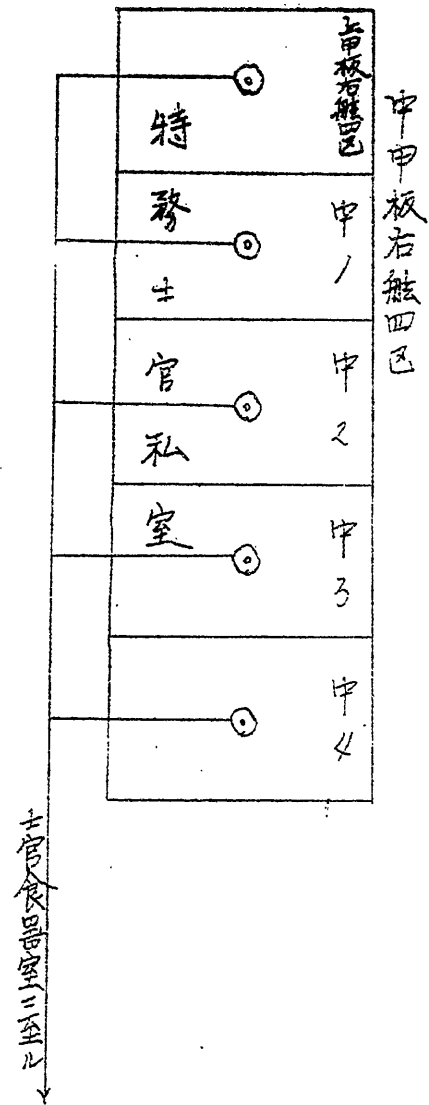
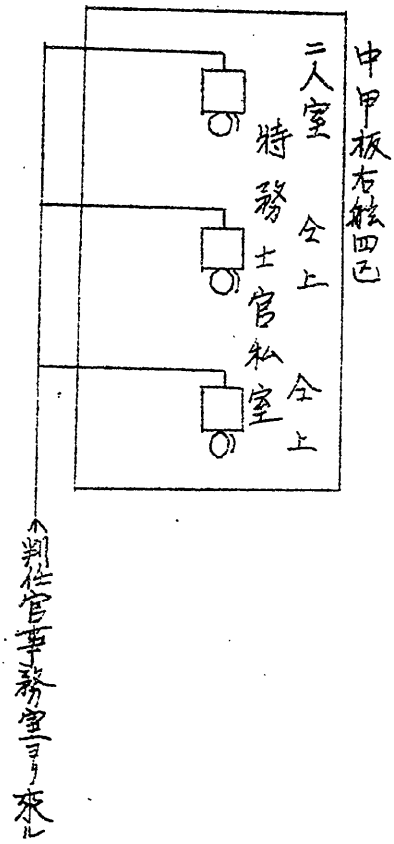
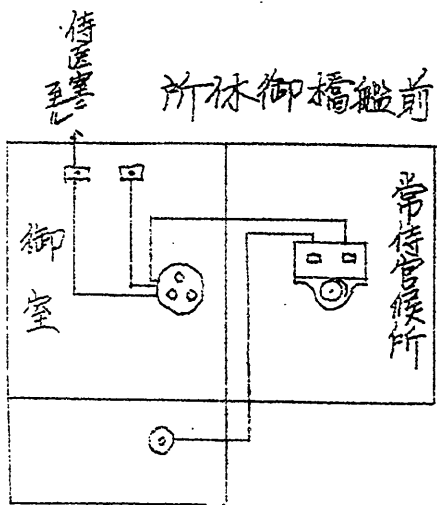


0682

二十九頁ノ次ニ挿入

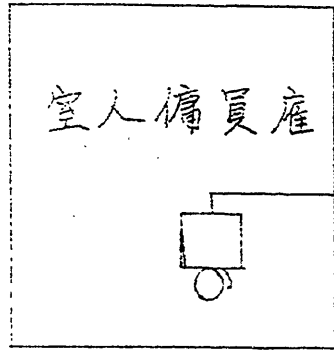


0683



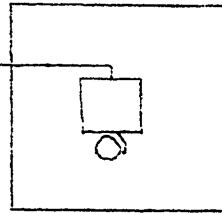
0684

廓砲番貳拾

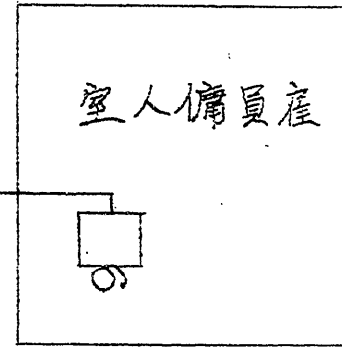


判任官事務室ヨリ來ル

供進所ヨリ來ル



廓砲番壹拾



判任官事務室ヨリ來ル

0685

特別任務中使用シタル兵器

品名	數量	記
四〇口径三八式八種高角砲 減裝時限發習彈藥包	二〇	小笠原島ヨリ佐伯灣ニ到ル航海中四八番高角砲ニテ 目標彈ヲ目標トシテ射撃施行天覽ニ供ス
減裝目標彈藥包	五	
複動信管	二五	橫須賀四回 <small>(御乗艦ニ)</small> 小笠原三見港二回 小笠原母島沖港二回 <small>(御退艦ニ)</small> 奄美大島名瀬沖二回 奄美大島古仁屋沖二回
英砲用二號擊發火管(Ⅲ型)	二五	
四十口径三八式八種高角砲 二號空放裝藥包	二五	皇權砲施行
英砲用二號擊發火管(Ⅲ型)	二七	

(終)

事

通信科

兵器整備及使用する準備

六月二十四日御召艦任務中「ラカオ」聴取装置装置準備ニ関シ横鎮第四號ノ三ニテ以テ左ノ通牒ニ接ス。

官房第二一六號

昭和二年六月二十二日

横鎮第四號ノ三ニ

横須賀鎮守府司令長官殿

海軍大臣

兵器貸與ノ件

横須賀海軍々需部在庫ノ左記兵器ヲ軍艦山城へ同艦特別任務中貸與方取計フベシ。右訓令ス。

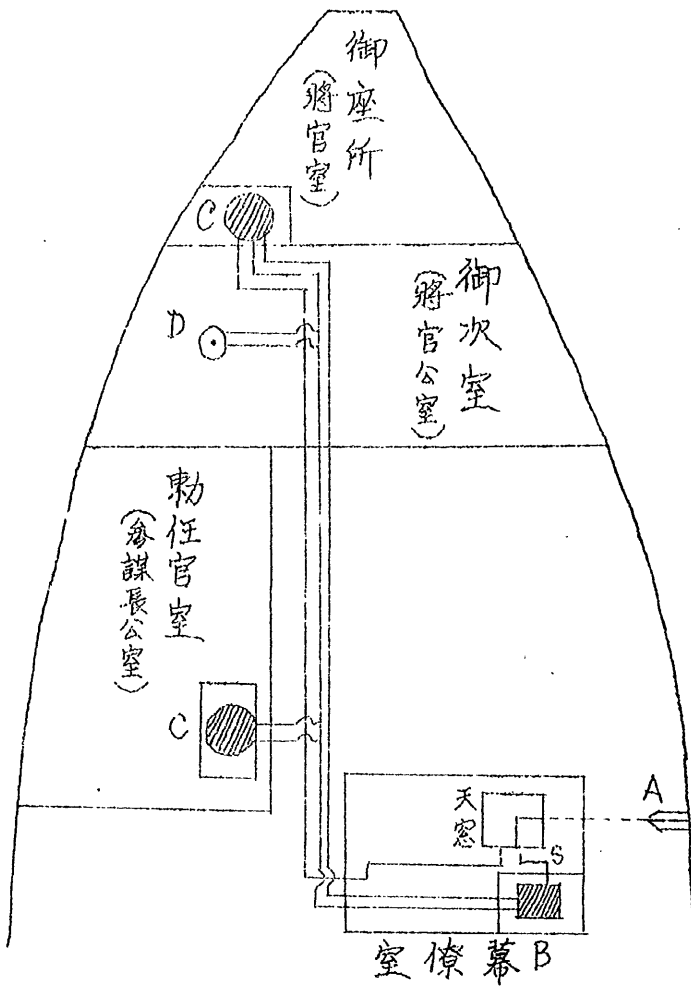
記

内線四四號

工式六號無線電話用受信機

附屬品 豫備品 共 豫備電球三組 添

一組



七月十四日官房第二二六號ノ訓令ニ依リ兵器ヲ借受テ横須賀海軍工廠ノ手ニ依リ「ラカオ」聴取装置ヲ裝備ス。裝備要領左圖ノ如シ。

内線四三號
 工式七號同
 テー式擴聲器

同同同

一組
 二個

(終)

A. 空中線(後檣ヨリ五・六番砲塔ノ上ヲ越ヘ幕僚室天窗ヨリ同室ニ引キ入ル)

B. 受信機

S. スキツチ(御座所ニモ受信機ヲ裝備シ得ル様スキツチヲ轉換ヨリ空中線後部迄導ク)

C. 擴聲器

D. 挿栓孔(必要ニ應ジ、擴聲器ヲ之ニ接續シ得)

七月二十日右裝備工事完成、東京、大阪、名古屋、放送局ノ放送ヲ聴取ス、結果良好

無線通信ニ関シテハ左記兵器ヲ整備ス

M式十五吉送信機 (七月十八日裝備完成公試ヲ終ル)

M式四號送信機

短波長送信機

七年式受信機ニ台

A式受信機短波長受信機各一台

(終)

無線通信ニ関スル書類
無線通信ニ関シ往復セシ書類左ノ如シ

軍務二第ニ七號

昭和二年七月十一日

海軍省軍務局第二課長

各鎮守府參謀聯合艦隊參謀

東京・横須賀・吳

佐世保・父島

山城艦長・扶桑艦長

海軍無線電信所長

殿

御召艦(山城)東京間無線電信連絡規約ノ件

首題ノ件別紙ノ通り定メラレ候

右通牒ス

(終)

0690

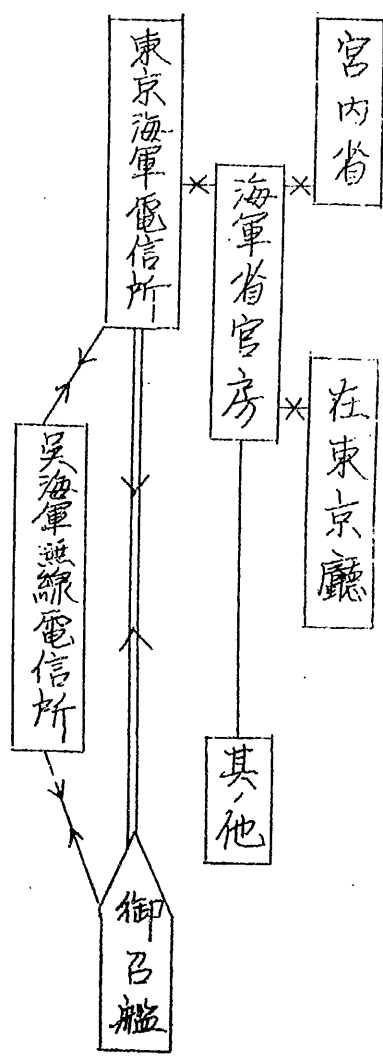
御召艦(山城)東京間無線電信連絡規約

一御召艦御乘艦(七月二十八日)ヨリ御退艦(八月十一日)迄ノ期間ニ於ケル御召

艦東京間ノ無線通信連絡ハ本規約ニ依ル

三二

二、通信系ハ左圖ノ通り



(備考) 吳通信系ニ屬スル東經一三六度以西ニ在ル場合ニ限ル

三、無線通信ハ左記ノ外海軍無線通信規程ニ依ル

イ、御召艦ハ主通信系ニ屬スルノ外東經一三六度以西ニ在ル期間吳交信区ノ副通信系ニ屬スルモノトス、但シ佐伯灣方面ニ在ル期間聯合艦隊補助通信系ニ屬スルコトヲ得

ロ、東京電信所ハ御召艦ニ對シ常用波長ヲ以テ隨時送信ス、御召艦ハ常時之ヲ待受クルモノトシ供奉驅逐艦トノ聯合受信ハ山城艦長ノ定ムル處ニ依ル

ハ、御召艦ハ定時以外ハ緊急信波長ヲ使用シ隨時送信スルコトヲ得

ニ、主無系ニ於ケル御召艦使用波長ヲニ七〇〇米トス

四 通信手續

一 御召艦ヨリ東京ヘノ通信

一 供奉員ヨリ宮内省其ノ他在京官廳ニ對スル電報ハ之ヲ普通願信紙ニ認メ山城通信長ニ交付ス

二 通信長ハ適當ニ處理シタル上其ノ旨供奉員ニ通牒ス

三 東京海軍無線電信所ハ受信文ヲ海軍省官房ニ送付ス

官房ハ直ニ宮内省關係ノモノハ之ヲ宮内省官房庶務課ニ其ノ他ノモノハ所要ノ向ニ送達(通知)ス

四 東京ヨリ御召艦ヘノ通信

一 宮内省其ノ他ヨリ御召艦ヘノ電報ハ普通願信紙ニ認メ其ノ封筒ニ

「御用電報」ト朱書シ海軍省副官(退廳時限ヨリ翌朝登廳時限迄

ハ海軍省宿直將校宛)送付ス

二 海軍省副官(宿直將校)ハ直ニ之ヲ東京海軍無線電信所ニ交付シ電

信所ハ之ヲ適當ニ送信ス

三 御召艦通信長ハ其ノ受信文ニ通(暗號文ナルトキハ原受信紙其ノ外)

淨書シ供奉宮内省判任官事務室ニ送付ス

五 御召艦ニ於テ左ノ電報ハ供奉員ニ通報スルモノトス

新聞電報
二氣象電報

軍務二第三二四號ノ三

昭和二年七月十六日

海軍省軍務局長

横須賀・吳鎮守府參謀長殿

御召艦宛無線電報特別取扱ノ件

首題ノ件ニ關シ今般別紙甲號ノ照會ニ對シ別紙乙號ノ通り回答
致置候條可然御取計相成度

右申達ス

(通牒先山城艦長・扶桑艦長)

(終)

別紙甲號

電業第二一〇〇號

昭和二年七月十五日

逋信省電務局長

海軍省軍務局長殿

天皇陛下御召艦宛無線電報特別取扱ノ件

天皇陛下 今般小笠原島及ビ九州方面へ行幸アラセラルルニ際シ御召艦ニ宛
 ツル(一)官公署ヨリ發スル公信(二)新聞社ヨリ發スル國民ヲ代表スル意味ノ私報ニ
 付テハ其ノ取扱ノ敏速ヲ圖ル爲前例ノ通り無線電報規則及海軍無線
 電報取扱ヒ規約ニ依リ海軍官憲ノ承認ヲ經タル電報トシテ之ヲ取扱フニ
 トニ致度尚御召艦ト當省所屬海岸局トノ交信方法ハ左記ニ依ルコトニ致
 度候ニ付テハ御支障ノ有無並ニ御召艦ノ使用電波長、海岸局トノ交信
 可能時間等御回示相煩度候

記

一御召艦ト交信ニベキ海岸局ハ左ノ各局トシ其ノ使用電波長ハ各下記ノ通トス

鉦子	持續電波	二四〇〇米
潮岬	減幅電波	一八〇〇米
下津井	全	全
角島	全	全
鹿見島	持續電波	二四〇〇米

0690

那覇 持續電波
一各海岸局別友信日割ハ左ノ通トス

二四。〇米

自	至	自	至	自	至
七月二十八日	八月一日	八月二日	八月三日	八月五日	八月六日
〽		〽		〽	
八月九日	八月十日				

別紙乙號

軍務二第二二四號ノ二

昭和二年七月十六日

海軍省軍務局長
逵信省電務局長殿

鉦子 潮岬
下津井及角島
鹿兒島及那覇
鉦子 潮岬

御召艦宛無線電報特別取扱ノ件
本月十五日附電業第二一〇〇號御照會ノ首題ノ件異存無之御來意
ノ通り取計置候條左記御了知相成度
右回答ス

記

一御召艦使用波長

一五〇〇米

二交信時間

午前八時三十分、午後零時三十分、午後四時三十分、
午後八時三十分より各三十分間

歸外

昭和二年七月十四日

瀬谷山城通信長

宇垣聯合艦隊參謀殿

無線通信ニ関スル件

本艦御召艦任務行動中佐伯灣方面ニ在ル期間軍務ニ第二一七號ニ依リ
聯合艦隊補助通信系ニ屬スル場合ノ通信波長指定御通知相成度

右照會ス

追而差支無之クバ本艦トシテハ長波長一五。〇。小波長四。〇。ヲ希望致候。

聯合艦隊第七號ノ一九ノ二

昭和二年七月十八日有明灣長門

宇垣聯合艦隊參謀 印

瀬谷山城通信長殿

無線通信ニ関スル件

御照會ノ件了承御召艦當隊補助通信系ニ屬スル場合ノ通信波長ハ一二五。米及小波長五。〇。米ヲ相互ニ使用シ長波長ハ御召艦佐伯灣御着迄ハ常時待受ケ爾後ノ通信時間ハ御入港後協定致度右回答ス

山城第一九號ノ五

昭和二年七月二十三日

(終)

東京海軍無線電信所長殿
山城通信長

波長整合ノ件

本艦特別任務行動中、對貴所送信波長二七〇。
 左記ニ依リ送信致ス可ク候間、鑑査ノ上即時貴所常用波長ヲ以テ
 (差支エアラバ横須賀電信所ヲ介シ電話ニテ) 状態御通知相成度、
 右依頼ス。

記

七月二十七日午前十時三十分ヨリ

M式一五吉 送信機

右整合ヲ終リ引續キ

M式一五吉 送信機

追而本行動中通信ニ関シ左ノ件御含メ置被下度

一 本行動中貴所ハ常用波長七七〇。ノ外緊急信波長二七〇。ヲ
 常時待受ス。

二 M式一五吉送信機ニテ通信可能ノ期間ハ全機ヲ主用スルモ午前九時及
 午後七時ノ通信ニハM式十五吉送信機ヲ使用ス。

三 萬一主副両送信機ニ故障ヲ生セシ場合ニハ短波長送信機ニ依リ
 通信ス。此ノ場合ノ送信波長ヲ三〇米トス。

(終)

山城機密第八号ノ七四

昭和二年七月二十日

山城艦長

第四驅逐隊司令殿

特別任務行動中御召艦(山城)供奉驅逐隊(第四驅逐隊)
無線通信實施要領

右送付ス

一通

(終)

特別任務行動中御召艦(山城)供奉驅逐隊

(第四驅逐隊)無線通信實施要領

一特別任務行動中御召艦(山城)供奉驅逐隊(第四驅逐隊)ノ無線通信ハ
軍務二第二一七號及軍務二第二二四號ノ三ニ據ル外左記ニ依リ實施ス
二待受分擔波長

山城

七七〇〇 (東京)

常時待受

二七〇〇 (緊急信)

全右

二四〇〇 若クハ一八〇〇 (海岸局) 軍務二第二二四號ノ三ニ示ス日時

第四驅逐隊

三四〇〇 (横須賀) 横須賀交信区内ニ在ル期間

三八〇〇 (父島) 父島交信区内ニ在ル期間

三五二五 (吳) 東経百三十六度以西ニ在ル期間

三通信實施規約

(イ) 四驅逐隊ハ山城ノ呼出符合ヲ以テ適宜聯合當直ニ依リ副(補)通信系ノ通信ヲ行フモノトス、

(ロ) 四驅逐隊ノ當直艦ノ受信セル電報ニシテ要スルモノハ小波長ニテ山城ニ傳送スルモノトス、

(ハ) 四驅逐隊ノ當直艦交代スル場合ハ其ノ都度通報スルモノトス、

(ニ) 山城ヨリ副(補)通信系通信ノ電報ハ同ジク小波長ニヨリ四驅逐隊當直艦ニ送信ス、

(ホ) 山城東京無線電信所間ノ通信連絡不可能トナリタル場合ハ山城ハ所在地ニ於ケル通信系交信区ニ入ル此ノ場合四驅逐隊ハ副(補)通信系通信ヲ止メニセ〇〇(緊急信波長)ヲ待受スルモノトス、

(ヘ) 四驅逐隊ハ副(補)通信系通信連絡ノ不可能若クハ困難トナリタル場合ハ直ニ山城ニ通報スルモノトス、

(1) 編隊航海中ノ隊内通信ハ小波長通信機ニヨリ通信波長ヲ五〇〇トス
(2) 前項ノ通信ハ要スル際信號(キンツ)ニ依リ小波長通信機ニ配員セシメ行フ
但シ天候ノ状況ニ依リ信跡通達困難トナル場合ハ各艦令ナク是待
受ヲ行フモノトス

(3) 各艦分離行動スル場合ノ通信波長ヲ一五〇トス

(終)

四驅機密第三三號ノ三六

昭和三年七月二十五日

第四驅逐隊司令

山城艦長殿

一特別任務行動中第四驅逐隊通信當直内規 一通

右送付ス

(別紙添)

(終)

1020

特別任務行動中第四驅逐隊當直内規

一通信實施ハ山城機密第一八ノ七四ニ依ル

三、當隊左記分擔ニヨリ副(補)通信系ノ通信ヲ行フ。

尤記

帆	風	太	刀	風	羽	風	秋	風
出港ヨリ	〜	$\frac{8P}{28}$	〜	$\frac{4a}{29}$	$\frac{4a}{29}$	〜	$\frac{N}{29}$	$\frac{N}{29}$ 〜 $\frac{8P}{29}$
$\frac{8P}{29}$	〜	$\frac{4a}{30}$	〜	$\frac{N}{30}$	$\frac{N}{30}$	〜	$\frac{8P}{30}$	$\frac{8P}{30}$ 〜 $\frac{4a}{31}$
$\frac{4a}{31}$	〜	$\frac{N}{31}$	〜	$\frac{8P}{31}$	$\frac{8P}{31}$	〜	$\frac{4a}{1}$	$\frac{4a}{1}$ 〜 $\frac{N}{1}$
$\frac{N}{1}$	〜	$\frac{8P}{1}$	〜	$\frac{4a}{2}$	$\frac{4a}{2}$	〜	$\frac{N}{2}$	$\frac{N}{2}$ 〜 $\frac{8P}{2}$
$\frac{8P}{2}$	〜	$\frac{4a}{3}$	〜	$\frac{N}{3}$	$\frac{N}{3}$	〜	$\frac{8P}{3}$	$\frac{8P}{3}$ 〜 $\frac{4a}{4}$
$\frac{4a}{4}$	〜	$\frac{N}{4}$	〜	$\frac{8P}{4}$	$\frac{8P}{4}$	〜	$\frac{4a}{5}$	$\frac{4a}{5}$ 〜 $\frac{N}{5}$
$\frac{N}{5}$	〜	$\frac{8P}{5}$	〜	$\frac{4a}{6}$	$\frac{4a}{6}$	〜	$\frac{N}{6}$	$\frac{N}{6}$ 〜 $\frac{8P}{6}$
$\frac{8P}{6}$	〜	$\frac{4a}{7}$	〜	$\frac{N}{7}$	$\frac{N}{7}$	〜	$\frac{8P}{7}$	$\frac{8P}{7}$ 〜 $\frac{4a}{8}$
$\frac{4a}{8}$	〜	$\frac{N}{8}$	〜	$\frac{8P}{8}$	$\frac{8P}{8}$	〜	$\frac{4a}{9}$	$\frac{4a}{9}$ 〜 $\frac{N}{9}$
$\frac{N}{9}$	〜	$\frac{8P}{9}$	〜	$\frac{4a}{10}$	$\frac{4a}{10}$	〜	$\frac{N}{10}$	$\frac{N}{10}$ 〜 $\frac{8P}{10}$

0702

三、當直交代ニ際シテ交代時通信係ヲ以テ確實ニ受渡シテ可シ。

必要ニ應ジ其ノ際隊内小波長ヲ使用シ得

(終)

掌電信兵充員及臨時補充

本艦定員八名(現員五名)ヲ全部補充スル他三名ノ臨時乗組ヲ置カル、
様上申認許セラレ十一名ノ掌電信兵ヲ以テ通信ニ従事シタルガ通信輻
奏繁忙ヲ極メタリ、

所見

- 一 主通信系ニ屬シ東京電信所ト直接通信ヲ實施セシ爲通信ハ極メテ迅速ニ施行スルヲ得タリ、
- 二 滿艦飾施行ノ前後約一時間及ビ之ガ施行中ハ主副両送信機使用不可能ナルタメ短波長ヲ以テ通信セザルベカラハ^甚一時通信ノ円滑ヲ欠キシコトアリシヲ遺憾トス、
- 三 部外海岸局トノ通信ハ有効ニ之ヲ利用シ東京トノ通信輻奏セシ場合或ハ通信狀態不良トナリシ場合等同高ヲ經テ交信シ通信ノ迅速ヲ計リ得タリ、
- 四 恒定交信時刻ヲ更ニ多カラシムルヲ可ト認ム
- 五 四空電強烈ニシテ長波長ニ依ル通信不良トナリシ際ハ短波長ニヨリ通信ヲ持

0703

續ニ得タル事屢々ナリキ、
短波長通信機ノ準備ハ極メテ有効ナリキ、

(終)

(二) 運用科

場所

長官室

特別任務ニ関スル準備事項

(運用長官管船匠部)

品名	数量	工
リノリューム貼替	全部	工
扉硝子 (西舷)	二枚	工
艦廊下入口鉄扉 防水装置及ゴム取替	二ヶ処	工
室内部塗粧	全部	工
煙囪	一個	工
艦橋前本安所新設	一ヶ所	工
舷窓「ゴム」取替	全部	工
金具類鍍金	全部	工
水部「ソック」塗替	全部	工
天窓「ゴム」取替	全部	工
艦廊下「グレート」取替	全部	工
全手摺削直シ「ワニス」塗	全部	工
全出口木部塗替	全部	工

記 事

工 廠 = テ 施行

長官室御寫真下片欄上へ外圍四三
尺一・九尺トシ一尺八寸四尺ヲ入ルニ足
ルモノヲ新設

長官公室

名	室	額	御寫眞額掛改	室	金	カワフホー止手摺鍍金	天	右方書棚(中央部)塗替	舷	リノリューム貼替	天	通風筒口覆布	天	窓	窓	天	槿田卓取付位置變更
刺	内	硝	額	内	具	手摺鍍金	窓	書棚(中央部)塗替	窓	窓	硝	筒	窓	金	金	窓	卓
挾	機	子	額	塗	類	鍍金	棹	塗替	硝	貼	子	口	網	網	棹	取	付
修	子	造	掛	粒	鍍	全	取	替	子	替	取	覆	新	新	塗	位	置
理	一	一	改	全	全	全	替	替	替	替	替	布	規	規	替	變	更
一	二	一	一	全	全	全	全	一	二	全	三	全	全	全	全	一	
個	個	枚	個	部	部	部	部	個	枚	部	枚	部	部	部	部	個	
カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	工	工	材	カ	カ	カ	カ	
	船匠員ヲ以テ修理施行									廠	廠	料受船匠員ヲ以テ取付					
										=	=						
										テ	テ						
										施	施						
										行	行						

(風取用共)

長官寢室

通風筒口	覆布	全	部	材料受船匠員ヲ以テ取付
「リノリ子」貼替	全	部	工	廠ニテ施行
御寢	臺	一	個	元長門使用ノモノヲ加工 (藩國ハ軍需部)
金具類	鍍金	全	部	ク
室内	塗粧	全	部	ク
寢内横上	「ワイヤゴースト」	三	個	ク
通風筒口	覆布	一	枚	材料受船匠員ヲ以テ取付(絹布)
机木部	「ラツク」塗	一	個	工
机羅紗	覆取替	一	枚	廠ニテ施行
書棚	幕布取替	全	部	(長官公室共)
御寢台	用御踏台新規	一	個	ク
腰掛布	團修理	一	個	船匠員ヲ以テ施行
棚板	新規	参	枚	ク
大便器	取替	一	個	工
排便管	逆流止嘴取付	一	個	廠ニテ施行(敷板ニ枚共新製)
大便用海水管	余不具合	一	ヶ	ク
厠入口	用金棒	一	個	ク

四〇

長官浴室

長官食器室
附近

長官食器室

廁窓掛用木具	全用白布幕新規	紙	浴室內格子板新規	浴槽內格子板新規	腰掛 新規	洗面鉢台 新規	清水加熱器内部を塗替	洗面台及洗面鉢 新規	排便管掃除	室內塗粧	長官公室前ソリソリ	全昇降椅子を貼替	全食器室横隔布	食器室冷蔵庫修理	全洗場附近、水部點替	食器棚板張
一	三	一	全	一	一	一	一	一	一	全	一	全	一	一	一	一
個	枚	個	部	板	個	個	個	個	所	部	部	部	枚	個	所	所
工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工
廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠
=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=
テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ
施	施	施	施	施	施	施	施	施	施	施	施	施	施	施	施	施
行	行	行	行	行	行	行	行	行	行	行	行	行	行	行	行	行

船匠員ヲ以テ施行

工廠ニテ其ノ儘修理施行
工廠ニテ施行

全 合 器 室	全 合 寢 室	艦 長 公 室	參謀長浴室				參謀長公室	艦長食器室 入口附近	艦長室入附近	室 内 塗	御用配食器棚	全 白 布 圍 新 規	食器室内棚新	白 布 圍 新 規	舷 窓 硝 子 取 替	机 羅	室 内 塗	洗 面 器 鍍 金	室 内 塗	紙 入 新 規	腰 掛 新 規	洗 面 台 新 規	リ ノ リ ユ ム 修 理	室 内 塗	室 内 塗	非 便 裝 置 倉 庫
一 ヶ 所	全 部	一 部	一 部	一 部	一 部	一 部	一 部	一 ヶ 所	全 部	三 ヶ 所	一 ヶ 所	三 ヶ 所	一 ヶ 所	一 枚	二 枚	全 部	一 部	一 部	一 部	一 部	一 部	一 部	一 部	一 部	一 部	一 ヶ 所
船 匠 員 ヲ 以 テ 手 入	船 員 ノ 手 ヲ 以 テ 塗 替	船 員 ノ 手 ヲ 以 テ 塗 替	船 員 ノ 手 ヲ 以 テ 塗 替	船 員 ノ 手 ヲ 以 テ 塗 替	船 員 ノ 手 ヲ 以 テ 塗 替	船 員 ノ 手 ヲ 以 テ 塗 替	船 員 ノ 手 ヲ 以 テ 塗 替	船 匠 員 ヲ 以 テ 施 行	船 匠 員 ノ 手 ヲ 以 テ 塗 替	工 廠 ニ テ 施 行	工 廠 ニ テ 施 行	工 廠 ニ テ 施 行	工 廠 ニ テ 施 行	材 料 受 船 匠 員 ヲ 以 テ 施 行	工 廠 ニ テ 施 行 (全上寢室共)	工 廠 ニ テ 施 行	工 廠 ニ テ 施 行	工 廠 ニ テ 施 行	工 廠 ニ テ 施 行	工 廠 ニ テ 施 行	工 廠 ニ テ 施 行	工 廠 ニ テ 施 行	工 廠 ニ テ 施 行	工 廠 ニ テ 施 行	工 廠 ニ テ 施 行	工 廠 ニ テ 施 行

前船橋

会所附近

士官贈所

室	内	塗	粧	全	部	艦員ノ手ヲ以テ塗替
贈所	全	鋼張	新規	二		工廠ニテ施行 (御調理所使用)
会所	内	御膳	之	一	部	
新所	脇	釣糸格納所	新設	一	ヶ所	
既食棚	及	全覆	新設	一	ヶ所	
会所	通路	ノ扉	新設	二	ヶ所	船匠員ヲ以テ施行
艦長	休憩室	白布圍	新規	一	ヶ所	工廠ニテ施行
陛下	御用	白布圍	新規	一	ヶ所	船匠員ヲ以テ取替
会所	ワタシ	ニス	新規	二	ヶ所	
休憩室	ニ	ワリ	ニス	一	部	工廠ニテ施行
長	休憩室	ソ	修理及	一	何	
会所	洗面器	履	全	一	何	
会所	全	具類	履	一	部	
会所	ワリ	ニス	點替	全	部	
会所	室	内	塗	全	部	艦員ノ手ヲ以テ塗替
艦長	休憩室	内	塗	全	部	
前部	留	鐵	艦橋	全	部	工廠ニテ施行
前部	留	鐵	艦橋	全	部	工廠ニテ施行
艦橋	附近	及	階子	全	部	艦員ノ手ヲ以テ塗粧
長	官	休憩室	通	全	部	
長	官	休憩室	通	全	部	

御用配膳所

後甲板

士官室	天窗	金網	新規	四	板	工廠	施行
右舷	交換	修理	一部	〃	〃	〃	〃
甲板	壇障	(大番砲塔後部)	全部	〃	〃	〃	〃
最上甲板	右舷	後部	一部	〃	〃	〃	〃
後部	右舷	左舷	二ヶ所	〃	〃	〃	〃
士官昇降階	右舷	左舷	三ヶ所	〃	〃	〃	〃
パンドレル	スタンション	包	全部	〃	〃	〃	〃
後甲板	天窗	洋漆	全部	〃	〃	〃	〃
舷	便	船	一部	〃	〃	〃	〃
船	掃	用	二巻	帳	三〇	米	製
御院	食用	上甲板	新規	三	〃	〃	〃
食事	運搬	用箱	新規	四	〃	〃	〃
御用室	風取	口	新規	一八	〃	〃	〃
午洗	鉢	等	新規	四	〃	〃	〃
士官	剣	刀	保管	分	所	〃	〃
令所	便	器	等	塗	方	〃	〃
次室	剣	刀	保管	分	所	〃	〃

四二

茶瓶 台新規	旋風 檜台新規	電報 機台新規	植木 鉢置台新規	運動 要員入箱新規	ピリヤード 押棒置台	汽動 艇架修理	冬 台室内椅子修理	煙草 盒台新規	氷 柱	輪 投	運動 要員ピリヤード台共	氷 槽 棒 材	各室 甲板リノリウム修理	各室 洗面台唾管修理	水雷 長室參謀室机羅紗取替	在士官 刺小便管分解入
一 二個	二 個	一 二個	一 二個	一 個	一 個	四 隻今	三 〇個	四 個	二 個	二 個	二 組	一 個合	一 部	全 部	二 ヶ所	一 ヶ所
ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク
					船匠員ヲ以テ作製 (材料工廠)		船匠員ヲ以テ作製	船匠員ヲ以テ作製	工廠ヲ作製	念	一組 船匠員ヲ以テ作製	工廠ヲ作製 長八米 深二四米				

四三

各私室洗面器及修理	一〇何	船匠員ヲ以テ施行
士官私室器及繕塗方	一四ヶ所	船匠員ノ千ニテ繕替
士官室内塗	全部	船匠員ヲ以テ作製
各私室用名札新規	二〇何	船匠員ヲ以テ施行
煙草金殿用帆布裏板	四何	船匠員ヲ以テ作製
士官私室洗面器及塵除	四ヶ所	船匠員ヲ以テ施行
寢室用踏台新規	六何	船匠員ヲ以テ作製
士官浴室用名札掛	一何	
合 名札	四〇何	
食卓用名札新規	八〇何	
氷柱用椅子新規	二枚	船匠員ヲ以テ作製 (準備)
士官 ^側 椅板新修理	一何	
氷箱 ^側 台新修理	一何	
機	一何	船匠員ヲ以テ作製
御用 ^女 網ノ柄新規	三何	船匠員ヲ以テ作製
陛下御居用掃除服入箱	一何	船匠員ノ千ニテ繕替
中 ^中 夜士 ^士 区 ^区 士 ^士 区 ^区 及 ^及 各 ^各 私 ^私 室 ^室	全部	船匠員ノ千ニテ繕替

下甲板手区主区各形室塗替 全
 上甲板及各室劃及 全
 中甲板二区三区四区塗替 全
 下甲板三区五区六区及各種塗替 全
 最上甲板吳島劃及附近塗替 全
 部 部 部 部 部
 〃 〃 〃 〃 〃

第一水雷艇

(御召艇)

修理施行個所
 艇首材修理
 外板及肋材修理
 トラスソレ上部修理
 防舷材並合全物修理
 上小縁修理
 甲板填隙並全張替

數量
 一ヶ所
 一ヶ部
 一ヶ部
 一ヶ部
 一ヶ部
 一ヶ部

記
 廠ニテ
 施行
 事

手掛金物敷板「ロソ」用	士官室入口階段新規	合「ハリス」入口柱	合各戸棚及「ロソ」修理	合「ハリス」内側板修理	合所敷板並「ロソ」修理	合所内側板修理	士官室「ロソ」修理	日覆金具釣皮取替	舵索取替	舵輪嵌合部	合索鞆輪修理	舵索鞆輪修理	舵柄受金物	舵尾燈取付金具新設	舵尾積杆鍍金
一	二	二	一	一	全	一	一	全	全	一	六	六	一	一	一
部	何	本	部	部	部	部	所	部	部	所	所	所	何	何	何
リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ
															工
															廠
															予
															施
															行

佐四

土官室内窓硝子	取替	一枚	ク	
合弁並ニ止金物修理	修理	全	ク	
合所及概概室隔壁修理	修理	一ヶ所	ク	
合所上部千摺金物鍍金	鍍金	全	ク	
天幕棟	棟	一	ク	
天幕用中央支柱	柱	一	ク	
概概室へ通る鐘及ハドシ	架	一ヶ所	ク	
煙突	架	一ヶ所	ク	
フリングレ取付座	座	ニヶ所	ク	
兵員室扉押金	金	一ヶ所	ク	
前部通風筒取付座	座	一ヶ所	ク	(特別製旗干ニ合フ様深ク)
艦首旗杆ノ差入穴	穴	一ヶ所	ク	
内外舷塗料	塗料	全	ク	(需品以外ニ特製)
艦首天望旗杆	杆	一	ク	艦員ヲ修理
錨ノ石トワクレ属曲	曲	一	ク	船匠員ヲ以テ作製
土官室内に踏台修理	修理	二	ク	

四五

天	軸	上	各	敷	間	上	修	通	力
幕							理		
材	部						施	ツ	
丈	わ					冊	行	夕	
柱	当	塙					第		
新							一		
規	全	縁	際	板	連	板	所	船	
							通		

一	全	全	一	一	一	一	敷	船	一	一
何	部	部	部	部	所	部	量		隻	隻

船	〃	〃	〃	〃	〃	工	記	〃	御	口
匠						廠	ニ		四	三
員						テ	テ		用	
ヲ						施	工		ト	
以						行	廠		ニ	
テ							ヲ		テ	
作							借		用	
製							用		(
									加	
									賀	
									ノ	
									モ	
									ト	
									シ	

安子	手	花	机	窓	半	暖	上	突	ク	枕	寝	敷	毛	品
樂														
子	燭	瓶	掛	掛	簾	簾	靴	具		覆	掛	布	布	名

三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	九	三	敷
六〇〇	二	二	二	九	七	〇	八	〇	一	三	〇	八	九	及
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	用

御用室並供奉	御用室	御用室並供奉	御用室	御用室	御用室	御用室	御用室	御用品並供奉	御用品	御用品	御用品	御用品	御用品	御用品
--------	-----	--------	-----	-----	-----	-----	-----	--------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

新製品四個御用室用

(枕覆ハ掛簾共)

記 事